

平成25年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに検証結果を報告する。

項目		目標	行動計画	検証結果
1	公務外非行の防止	公務外であっても、公務員として自覚ある行動をする。	職員行動指針の共有化	年度当初に「職員行動指針」を配付し、読み上げることで全員が共通認識できるよう努めた。さらに、学期ごとに「不祥事防止自己チェック」を行い、常に意識を高める努力をした。
			啓発資料等により、法令遵守意識の向上	
			不祥事防止自己チェックの実施	
2	体罰、不適切な指導、セクハラ・わいせつ行為の防止	人権尊重の意識を高め、不適切な指導・行為のない職場を作る。	人権研修会の実施	人権尊重の意識を高めることで、不適切な指導・行為のない職場作りをめざし、8月に研修会を行った。さらに「不祥事防止自己チェック」で自他の行動を振り返る機会を持った。
			外部講師による不祥事防止研修会の実施	
			不祥事防止自己チェックの実施	
3	適正な経理処理	適正な会計事務の実践に努め、事故を未然に防ぐ。	私費会計マニュアルの活用及び定期点検の実施	私費会計基準を設け、校内に周知できるよう説明会を行った。適正な経理処理ができるよう常に声をかけ合い、マニュアルの見直しを行うことで、事故を未然に防ぐ努力をした。
			不祥事防止自己チェックの実施	
4	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理・ルールの徹底を図り、個人情報の流出・紛失を未然に防止する。	生徒の個人情報について適正な管理の実施	情報セキュリティポリシーに則り、さまざまな情報の適正な管理に努めた。運用のためのルールや様式を作り、周知徹底した。また、変更が必要な場合は、適時適切な変更を行った。「不祥事防止自己チェック」によれば、達成率は上がっており、5項目中4項目で100%を達成した。
			進路指導や教育相談に係る個人情報の適正な管理	
			文書管理に係るルールの周知とチェック	
			電子情報の取扱いに係る研修とチェック	
5	交通事故・交通違反の防止	法令遵守及び安全運転を励行し、事故や酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	啓発資料等の活用	不祥事防止啓発資料のポイント部分をマークして全職員に回覧したり、関連する新聞記事を掲示するなどして、注意を呼びかけた。「不祥事防止自己チェック」で定期的に、交通事故・交通違反の防止について振り返る機会を持った。
			不祥事防止自己チェックの実施	
6	業務執行体制	報告・連絡・相談等により情報共有やチームの協力体制を確立する。	適切な報告・連絡・相談の実施に係るチェックの実施	不祥事防止に向けて、全員参加の標語作りに取り組んだ。週初めの朝の打ち合わせで1名が標語を発表するが、その標語に込めた思いやエピソードを語ることで、より身近に感じ、全職員が共有できた。
			不祥事防止自己チェックの実施	